



ぶっく★まーく

編集スタッフのおすすめ

転

このコーナーでは、情報・図書コーナーの中から、本紙スタッフがピックアップした本を紹介しています。

この他の本も、ぜひご利用ください。※書籍下の番号はセンターでの検索番号です。



[100-3]

毎日のごはんは、これでいい

2017年 主婦の友社
主婦の友社(編)

あの料理家が「このくらいでもいいんだよ」だって！プロならではの「視点とコツ」に簡単でも筋の通った手抜きができそう。わたしもやってみよう。悩むあなたもほっとする一冊。(ルナ)

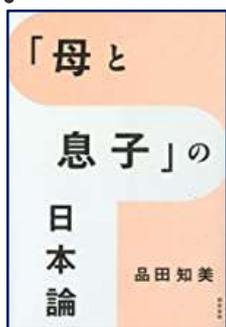


[200-5]

ひとり親でも子どもは健全に育ちます シングルのための幸せ子育てアドバイス

2012年 小学館
佐々木 正美(著)

子どもを健全に育てることは可能だろうか？と悩むひとり親に、小児精神科医の著者が未来を築くための子育て方法をアドバイス。読み進むうちに心が和んできますよ。(みっと)



[200-5]

「母と息子」の日本論

2020年 亜紀書房
品田 知美(著)

甘美で重苦しい関係。母親業は自己犠牲が社会から期待され、この関係が続く限り、社会での女性蔑視が広く深く起きている。

関係を変える一歩を。(ぽっと)



[600-3]

幕末明治動乱「文」の時代の女たち

2014年 双葉社
熊谷 充晃(著)

吉田松陰の妹「文」の生涯を背景に、歴史の転換期を生き抜いた女性たちが描かれている本書。困難著しい社会で運命を切り拓いていく「女の生き方」に、感動することしきり。(みっと)



[900-0]

主人公はきみだ ライツのランプをともしようよ

2019年 出版ワークス
中山 千夏(著)

子どもが人権(ライツ)について知り、自分や他者を大切にできるようにと願う著者が、語りかけるような言葉で綴る。まず大人が読んで自分のライツのランプを点そう。(ルナ)



[1000-2]

親の介護で自滅しない選択

2017年 日本経済新聞出版
太田 差恵子(著)

親の介護が始まったら、自分の生活はどうなるのだろう。「思い込み」を捨て、少し「発想」を変える。

自分が元気でなければ、看ることはできないのだから。(ぽっと)

新着図書情報(一部抜粋)

図書名	検索番号	著者	出版社
私のまま、素直に生きる	100-4	森田 汐生(著)	主婦の友社
マインドトーク あなたと私の心の話	300-5	みたらし 加奈(著)	ハガツサックス
多様な社会はなぜ難しいか 日本の「ダイバーシティ進化論」	700-2	水無田 気流(著)	日本経済新聞出版
こどもジェンダー	900-2	シオリヌ(大貫 謙織)(著)	ワニブックス
キャラメル色のわたし	1200-2	シャロン・M・ドレイパー(著) 横山 和江(訳)	鈴木出版

編集後記

スタッフとして1号から関わった。長く続けてよかったことは、自分の好みでは出合えない本と出合ったこと、文章を書くのに慣れたこと、大勢のスタッフや人権・男女共同参画課の担当者と出会ったこと。そして今春、ぶっく★まーく創設に関わった担当者が戻ってこられたこと。本当に続けてきてよかった！(ルナ)